

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1198号	氏名	高橋 亮子
論文審査担当者		主査教授	永山 雄二
		副査教授	河野 茂
		副査教授	近藤 宇史
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>レプチンは摂食とエネルギー消費をコントロールして抗肥満作用を持つ。一方、グルココルチコイドは肥満を引き起こし、レプチンに拮抗する。本研究ではこれら2つのホルモンの細胞内での相互作用を検討するため、レプチン受容体の細胞内シグナルに及ぼすグルココルチコイドの作用を <i>in vitro</i> 及び <i>in vivo</i> において分子レベルで解析しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>上記目的のため、分子生物学的手法を用いてレプチン受容体強制発現細胞培養下での <i>in vitro</i> 実験を行い、得られた結果をさらに <i>in vivo</i> の動物実験に発展させ確認した研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、レプチン受容体の細胞内情報伝達系へのグルココルチコイドの抑制効果を <i>in vitro</i> 及び <i>in vivo</i> において分子レベルで明らかにし、かつ <i>in vivo</i> での食欲の変化への影響も解析した点非常に優れており、今後の研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は代謝学、特に食欲と肥満の領域、におけるレプチンと副腎皮質ステロイドの相互作用の分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。